

経営比較分析表（令和元年度決算）

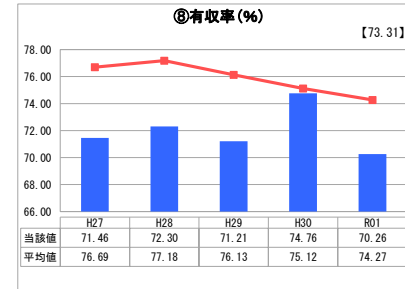
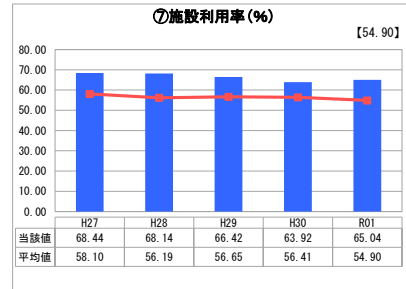
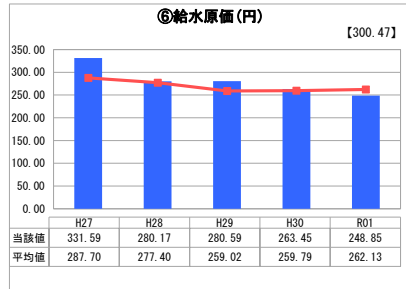
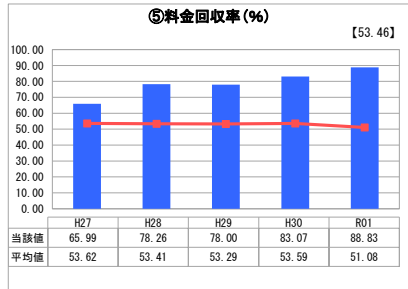
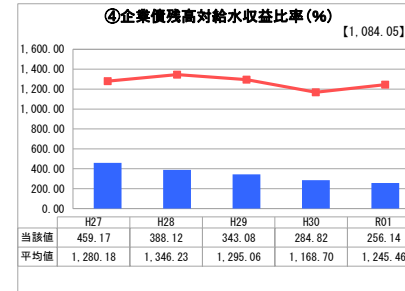
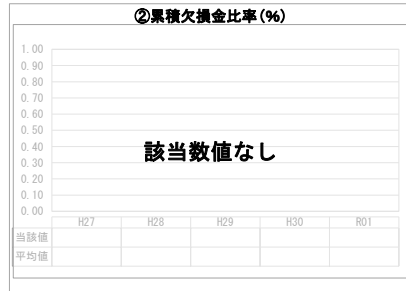
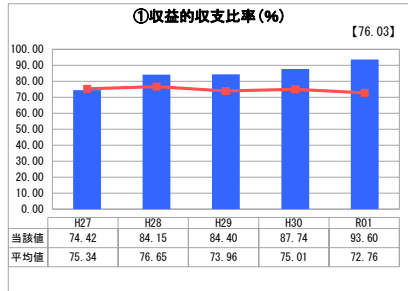
熊本県 苓北町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	96.71	4,250	

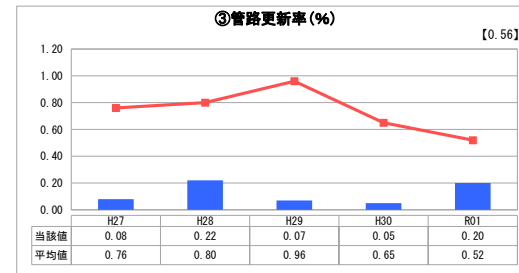
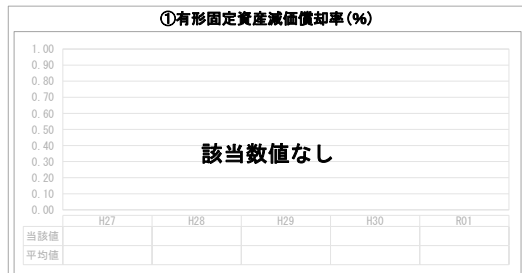
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,129	67.58	105.49
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
6,810	34.23	198.95

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

給水人口の減少により使用料収入が減少し、漏水や機器故障による修繕等の維持管理費が増加したものの、地方債の償還が一部終了し、償還金が減少したことで収益的収支比率が上昇している。
有収率については、漏水の発生により有収水量が減少したことで昨年の数値を下回っている。漏水箇所の早期発見や管路補修を適時に行い有収率の向上に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

平成15年度にかけて下水道整備と、平成23・24年度にかけて志岐地区特定農業用管路特別対策事業に併せて配水管の布設替えを行った。
また、富岡地区においては送水管・配水管で漏水が頻発していたため、平成23・24年度で布設替えが完了している。
現在は道路改良工事に併せて随時布設替えを行っており、計画的に管路の更新を行っていく。

全体総括

地方債償還金の減少により経営面において改善がみられているが、人口減少に伴う使用料収入の減少や施設等の老朽化に伴う更新需要の増大と、経営環境が厳しくなることが予想される。
令和2年度から固定資産台帳の整備に着手し、よりの確な資産情報を把握し、長期的な計画を立て、アセットマネジメントや長寿命化、施設や管路の効果的な更新を行っていく。また、漏水箇所の早期修繕などにより維持管理費の節減に努め、将来にわたる安定的な経営の継続を目指す。